4月に着任しました よろしくおねがいします。

副校長：星野 健史

前任校の白樺高等養護学校は、知的障がいのある高校生が、葛藤に悩みながら自分の得意なことや助けが必要なことを理解（自己理解）し、卒業後の進路に目的や夢がもてるよう支援してきました。

真駒内養護学校は、「愛・夢・心」のキャッチフレーズを掲げ、開校から大切にしてきた児童生徒一人一人の今に寄り添い、将来に向けて確かな力の獲得を目指す教育を校長のリーダーシップのもとに継承、発展、推進してゆきます。

最近、NHKスペシャル『ベイリーとゆいちゃん』という番組を見ました。我が家でも柴犬をかっておりまして、家族の一員となって7年がたち、毎日私の心を癒やしてくれています。この番組では、神奈川県立こども医療センターに常駐するセラピー犬ベイリーと、病と闘うゆいちゃん（10歳）との関係に着目して、心のやりとりをありのままに取材した番組でした。

犬が持つ人の心を癒やす能力は、医療現場の患者さんのみならず、他者に心を開くことが苦手な自閉症の子どもたちや認知症の高齢者に対しても、様々な良い効果をもたらすことが最近の研究で明らかになってきているそうです。

時代の流れが速くなり、核家族化や情報化が進行し、仕事に・家事に・育児に追われてゆっくりしたりストレスを解消したりする時間をとれない方が多くなっているように感じます。

本校が大切にしてきた一人一人の児童生徒に寄り添う教育を充実されるためにも、保護者の方や職員が余裕を持って子どもたちに接することができるような環境づくりが必要と思います。

真駒内養護学校は、仕事の効率化を図ったり、得意分野で互いを助け合ったりしています。また、おやじの会で楽しく活動する保護者や教師がいます。OBの方々が学校に遊びに来たり、地域の方々がゲストティーチャーとしてお手伝いやボランティアで協力していただいています。人々のこうした絆や和を大切に、保護者の方々や職員が余裕を持って子どもたちに接することができるよう副校長として環境づくりに力を尽くしたいと思いますので、ご理解とご協力をお願いします。